

クジラと共に暮らす町

太地町の町づくり



町の大きさ 581km²

人口 2957人

人口密度 509人/km²



太地町ってどんな町？

くじらと共に生きる町

リアス式海岸で囲まれ、形はクジラが口を開けているみたい。



県内で一番小さい町。
(人口が少ない)

くじらをモチーフとした町章



クジラにこだわった街づくり



クジラの案内板



しっぽのモニュメント



クジラのモニュメント



下水道マンホールの蓋

クジラを使ったモニュメントやトンネルなどがあります。皆さんもぜひ探してみてください。



太地トンネル

太地町の公園

太地町は公園に力をいれています、太地町の公園を見ると、自然に囲まれた公園が多いです。ため池、海の近くの公園やきれいな花が並んだゲートボール場があります。また、道の駅のトイレもきれいにしています。旅行に来た方はぜひ行ってみてください。

全町公園化のために・・・



ゲートボール場のつつじ



道の駅女性用トイレ (H29.8整備)



夏山園地① (H30.3整備)



夏山園地② (H30.3整備)



雑賀ふとん店前 公園化 (H30.3整備)



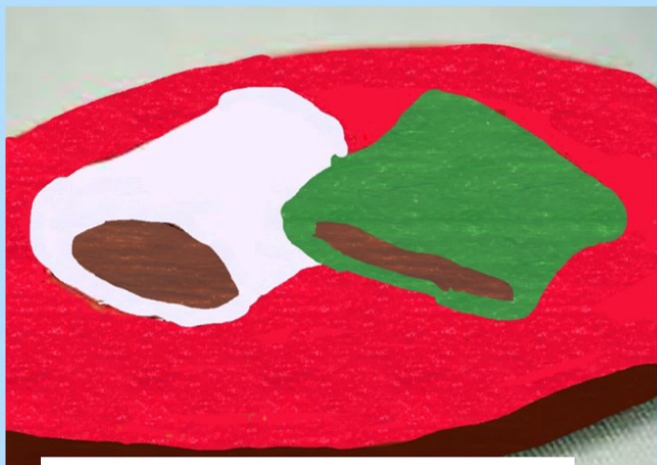
夏山園地③



太地町のおいしい食べ物

これはてつめん餅です

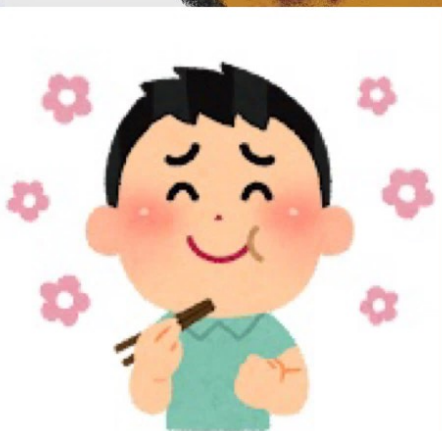
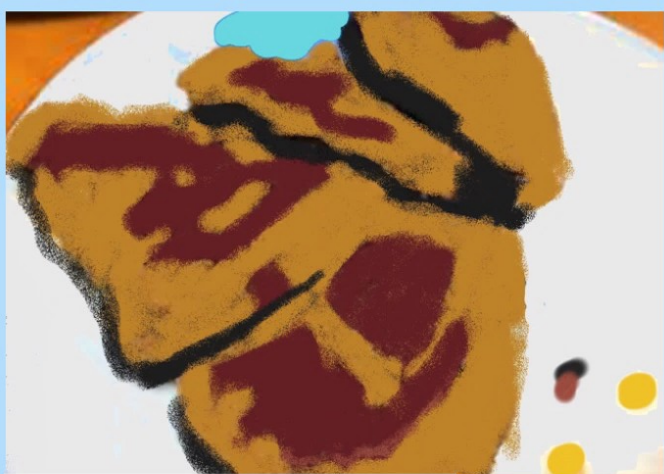
亀八屋で、作られる和菓子です。外側は白餅とよもぎ餅の二種類、内側にはあんこが入っている、和菓子です。ぜひ、太地に行った際は食べてみてください。



これは、クジラの竜田揚げです。太地町といえば、

クジラですよね。

僕は、給食で食べたことがあります。海の生き物なのにお肉みたいな食感で、とてもおいしかったです。一度食べてみてください。



くじらと共に 過去・現在・未来へ

太地町では、くじらと共に生きていくために、過去・現在・未来をどのようにつないでいくか考えています。

過去・・・古式捕鯨

現在・・・クジラを観光にする

未来・・・クジラの学術研究都市

くじらとこれからも生きていくために、これからは、くじらを研究していくそうです。下の図は、研究の構想図です。

森浦湾くじらの海を基地とした、活力ある自然とくじらのまちづくり将来構想図

一鯨を愛で、育て、活かし、共に歩み、共に学ぶ一

鯨類の放流 (鯨養殖)

自然に近いかたちで、鯨類を放流養育し、体験学習や観光ふれあいの場をつくらせます。

観望体験の場

- 漁業者や学校の先生OB、地域住民等が地域内外の子どもたちに鯨の生物の生態や観望の楽しさを教えます。
- 見学旅行や夏休み観望ツアー企画なども考えます。

体験漁業へ

くじらが見える海鮮レストラン
くじらの博物館森浦湾ラジ
体験施設・公衆便所・駐車場

くじらと泳ぐ海水浴場

海からシーカヤックでアクセスするプライベートビーチ型のくじらと親しく泳げる海水浴場。

多目的広場

- 鯨の遊泳展望
- 体験オリエンテーション
- 観望イベント
- 花火大会やバーベキュー

観望見学体験

時には海上特設ステージとして海上コンサート等も考えます。

定期的な朝市の開催

- 本地町の農水産物や伝統的な加工品など一堂に集まる朝市が定期的に開催されます。
- そこでくじらを見ながら浜や磯でできる海鮮バーベキューセットも売っています。

情報センター
体験施設
駐車場等

展望本遊歩道

公衆便所・管理棟・駐車場

目的

くじらと親しくふれあい、いやされる空間を提供することを通じて、太地町の良さを外の人に知ってもらい、交流人口を増やし、地域経済の拡大につなげようとするものです。

●磯遊び体験の場

漁業者や学校の先生などが子供たちに磯の生物や磯遊びの楽しさを教えるところです。



●くじらと泳ぐ海水浴場

くじらと親しく泳げる海水浴場です。



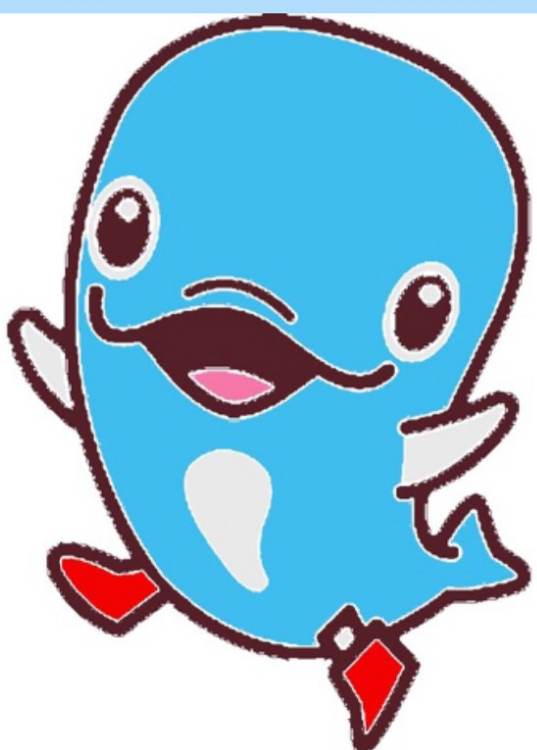
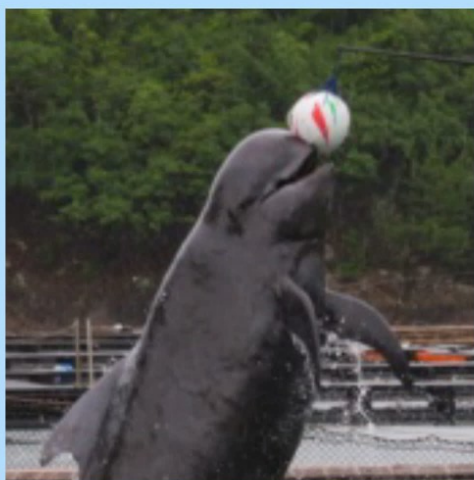
森浦湾のシーカヤックをしているすぐ横でくじらが泳いでいます。森浦湾では、くじらを放し飼いにしています。

太地町のゆるキャラ

太地町のゆるキャラは、ゴン太です。

ゴン太は、くじら博物館の四十周年を記念して2009年に誕生したゆるキャラです。ゴン太はコビレゴンドウをモチーフにして作られました。

太地町はゆるキャラも「くじら」をイメージしてつくっています。



くじら博物館に行った感想

僕たちは修学旅行でくじら博物館に行きました。クジラ博物館の中は、スタンプラリーがあったり、クジラの骨格標本や古式捕鯨に使った道具などを見ることができたのでよかったです。終わったら、外に行ってイルカショーと、クジラショーを見ました。クジラのジャンプが迫力満点で良かったです。博物館の中には、お土産がたくさんありました。



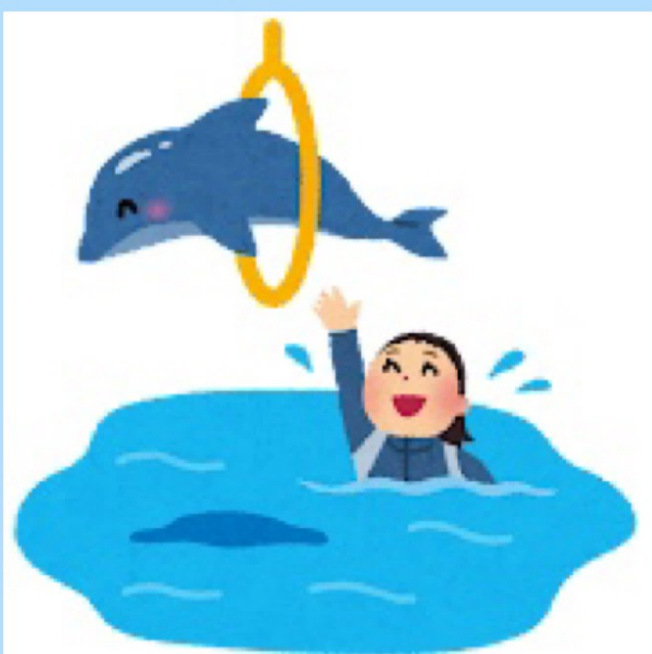
くじらやイルカを育てている人にインタビュ―

Q. イルカとどう過ごしていますか？

A. 水中に人がいることになれているイルカだと一緒に泳ぐことができます。週に一回、空気ボンベをつけていけすの網に破損がないか、ゴミがないかを確認を行っているときに、潜っているスタッフに近づいてくるイルカがいて、イルカから背中を触らしてくれ、さらに背びれにつかませてくれて、海を泳ぐことができました。スタッフだからこそできる体験で、イルカと海の中で過ごすことができました。

Q. 大変なことはなんですか？

A. 生き物相手だと上手くいかないことも多いですが、日々の成長を一番近くで感じられ、非常にやりがいを感じることができます。また、クジラやイルカの行動を観察することで、その種特有の新たな発見をすることができます。





太地町はグルメも観光もたくさんあって、
とても楽しいよ。
ぜひ、太地町にきてね！



紀の川市立 池田小学校 6年生作成